

年金 あなたは加入もれしていませんか

今年三十五歳になる人で、国民年金に加入していない人はありませんか。(昭和十七年四月一日から昭和十八年四月一日生れの人) 国民年金は、厚生年金や船員保険、各種共済組合などの年金制度に加入していない、二十歳から五十九歳までの人が加入する年金制度です。そして、五十九歳までに最低、二十五年以上保険料を納めた人に、六十五歳から老齢年金が支給されます。もちろん、保険料を納めた年数が多ければそれだけ年金額は多くなります。

しかし今年三十五歳になる人は、今年の保険料から五十九歳になるまで休むことなく納めなければ二十五年の期間が不足し、老後に年金を受けることができなくなりま

この年齢の人で国民年金に加入していない人は、市役所市民課年金係で加入の届をし、保険料を納めるようにしてください。

なお、国民年金について詳しいことをお知りになりたい時は、お気軽におたずねください。

【市民課年金係】

大会 サイクリング大会

無公害と健康回復(体力づくり)を志向し、サイクリング活動を通じてサイクリングの健全な普及、発展に寄与することを目的とした第三回サイクリング高知県大会南國大会が開催されます。

サイクリングを愛好する小学五年生以上の男女(親子歓迎)なら

十一月六日(日)八時半、南國市役所に集合。なお、参加上の注意事項については、申込みの際に詳しくお聞きください。

【南国警察署】

交通 五〇〇〇以下のバイクは注意を

最近、急速に利用者が増加している五〇〇〇以下のバイクによって、保育所などの児童の送迎をしている姿をよく見かけますが、これは交通法規で禁止されている行為であって、罰金が適用されます。

【南国警察署】

試験 保母(資格)試験

十一月一日から十日までが受付期間です。郵送の場合は十日の消印のあるものは受付できません。試験は十一月二十一日から二十四日まで、高知女子大学で。

【南国郵便局】

郵便 年賀はがき発売

郵政省では、十一月七日(月)からお年玉つき年賀はがきを発売いたします。

「寄付金つき二十一円」と「寄付金なし二十円」の二種類です。売り切れないうちにお早めにお求めください。

【南国郵便局】

11月は
国保税(3期分)
の納付月です

市展の歩み <2>

部門としては、応募者があるかないかは別として、一応一般の部では洋画、日本画、漫画、写真、書道、工芸で漫画のあるのが特色でした。児童生徒の部では漫画、デザイン、版画、工芸とし、特に漫画では四つ切り

大きな画用紙としました。

市展の歩みも、十六回まで詳細に書けば限りがないが紙面の都合もあり、第一回のことを一応書いて、後は総合的に見た傾向や特別な事例についてまとめて書くことにします。

何さま初めてのことであり、応募者がどれくらいあるものやら不安もあったし、出品規定なども極めて簡単なもので「出品資格は

解放への歩み

(1)解放令

幕末には「人間はもともと平等だ」という考えに目覚めた人が多くなり、部落の人々の人間としての欲求も次第に強まりました。このような情勢の中で進歩的な学者加藤弘之や、土佐藩出身の大江山などによって部落の人々の身分制の廃止が強く主張されました。なかでも大江山

部落解放への道標

の建白書は「えた」という身分制度を廃止、資金を与えるとともに職業を保障せよ」という、身分上の平等だけでなく経済上の保障もなくてはならないというすぐれたものでした。

このような世論を背景にしながら「解放令」が明治四年に出されるようになりました。大政官布告第六一号「えた、非人の称を廃せしめ、自今、身分職業とも平民同様たるべきこと」という解放令が出されて、被差別部落の人たちは制度上の身分差別から解放されることになりました。

はたして明治政府は、心から部落の人々を差別してはいけなかったと考えて解放令を出したのでしょうか。決してそうではありませんでした。当時、日本の国は欧米諸国と比べるとすべての点で落ち遅れていました。そこで政府は富国強兵、殖産興業という方針をたて、それをやりとげるために働く人々や兵隊になる人々をたくさん必要としました。このため今までの身分制度のままでは地区住民や民衆を労働者にも兵隊に使うことができないので、たてまえとしての解放令を出したのでした。

この当時、「里数改正」の意見が出されました。江戸時代には、えた村は、道路の里数の中に計算しないので、十里といってもその中



代とあまり変わらない、むしろそれ以上の悲惨さで絶望的な生活を続ける結果になったのです。教育や教育行政の面においても例外ではありません。明治五年には新しい日本の学校制度が始つていますが、貧しい民衆は高い学校建築や学費の負担に耐えられなくなつて、各地に「学制反対」の百姓一機がおこっています。部落の人たちも学制が施行されたので自分たちの子供も一人前の教育を受けられると大喜びでしたが、実際には自分たちでたくさんのお金を出して学校を建て、高い授業料を払って勉強させるほどの生活のゆとりはありませんでした。また社会的にも強い差別意識が残つて

いて、部落の子を入れてくれる学校もなかった。部落内には寺子屋式の粗末な学校をつくつて勉強しました。政府はこれに対して何らの手だてもせず放置しましたのであちこちに部落学校が生れま

した。時には行政の手によってこのような部落と部落外とを分けるような方策がとられたこともありました。

これに対して、部落の人々は団結して抵抗したこともあります。明治九年から十四年にかけて、兵庫県飾磨郡では兵庫県庁に対して「一村内にありながら新しく平民になつた」ということで、他の部落と区別して遠い不便な分校に通わせる理由はない。これは文明の道をふさぎ、四民平等の大原則

に反する大きな差別である」と強く訴え、部落学校をつくらうとする差別政策にねばり強い抵抗をこめて本校への通学を勝ちとりました。

このようなことは当時のきびしい差別政策のなかでは画期的なことであり、部落解放の歴史のうえで重要な意味をもつものであります。

以上簡単に述べましたが、このように「解放令」は部落を解放する具体的な政策をもたず、名目に近いものでしかありませんでした。会式があり、市長のあいさつや経過報告、各部門別の審査、市展の歌、テープ切りと敬祝式典が行われました。ちなみに「市展の歌」は、故岡田一氏作詩、岡崎素輪氏作曲のもので、高知県下で唯一の市展をたたえる歌で、会期中ときどき流していました。

【市文化推進協議会長】